

仙台市議会 政策報告

発行者
加藤和彦

仙台市青葉区愛子東六丁目7-45
TEL.022-392-2213
FAX.022-392-6176
<http://k-kazuhiko.com/>

一緒に創ろう!
仙台の未来
青葉区発
No.27
令和4年11月

令和4年第1回定例会 一般質問

アフターコロナを見据え仙台・東北の強みを活かした
東北連携について、東北の特色・強みである
農と食をどのように活かして取組を進めていくのか伺う。

令和4年第3回定例会 一般質問

クマをはじめとする有害鳥獣への対応について
地域住民の安心・安全を考える。

令和4年第1回定例会 一般質問 質問と回答

- Q1 農水産、食を題材とした東北連携の取組みと地域活力の向上について
A1 人口減少が進む地域が活力を維持していくためには、都市部をはじめとする他の地域との交流を増やすことが、有効な策のひとつであると考えております。
- Q2 仙山交流の取組状況、国道48号を軸とした交流について
A2 市民の皆様にとりましては、ひとつの生活圏と感じられるほど、関係性が深まってきているものと認識しております。
- Q3 作並・新川地区における農業振興について
A3 大消費地に近い強みを生かした6次産業化などの取組みを支援するなど、当地区の農業振興に取り組んでまいります。
- Q4 オートキャンプ場の誘致、森林資源を活用した魅力の向上について
A4 キャンプ場やワーケーション施設等としての実証事業を計画するなど、この地域の自然環境を生かした取組みが進んでおります。
- Q5 宮城総合支所の役割について
A5 城総合支所が、仙山連携をはじめ地域の創意工夫を生かした各般の取り組みを一層進められるよう、しっかりとその役割を果たしてまいりたいと考えております。

令和4年第3回定例会 一般質問 質問と回答

- Q1 現場調査に基づく対応について
A1 住宅地でのクマ出没への対応フローを見直し、区・総合支所、県や県警など関係各所との共有を徹底することにより、迅速な対処に努めてまいります。



TOPIC 令和4年度 施工一覧表

第1回定例会

1
一般質問

仙台・東北の強みを活かした 東北連携

Q 加藤和彦議員

昨年、本市の1年間の人口動態がマインス567人と、少なくとも政令指定都市移行後、初めて減少に転じたとのことです。早晩、本市の人口が減少に転じることは避けられません。宮城県を含む東北の人口減少はさらに深刻であります。人口の減少は地域の活力の減少につながります。

このような認識から、私は、東北が連携して当たっていくことの重要性とともに、アフターコロナの東北連携における重要なポイントは、東北の特色・強みである農と食をテーマとした連携であると申し上げました。そのPRをすることにより、本市及び東北における交流人口拡大のみならず、農業や食文化の更なる発展につながることを期待されます。

東北連携に向けた新年度予算案では、東北の文化や歴史等に着眼した高付加価値旅行商品造成によるローカルツーリズム推進、あるいは、仙台発着の魅力的なドライブ観光のプロモーション等を行う東北ロードトリップ推進があります。一方で、具体のイメージが湧かない。東北連携を進めるにあたっての肝は、東北の強みは何か、何が全国そして海外の人たちに新鮮に映るのか、魅力なのかであります。この点をしっかりと押さえて連携していかないと、空振りになってしまう。私が思う

東北の強み・魅力は、農水産と食にあると考えておりますが、ご当局は、仙台、東北の強みや魅力をどのようにとらえておられるのか、また、新年度、その強みをどのように活かして取組を進めていくのか、更に人口減少時代における地域の活力の向上に向けてどう対応していくのか、予算案との関連を含めて伺います。

A 副市長

農水産、食を題材とした東北連携の取組みと地域活力の向上について

人口減少が進む地域が活力を維持していくためには、なんといいましても都市部をはじめとする他の地域との交流を増やすことが、有効な策のひとつであると考えております。自然や歴史、祭りなどもより、豊富な農産物や海産物を使用した地域特有の食文化などは、東北ならではの魅力と認識いたしており、それらを活用した観光等による交流促進に東北の各自治体と連携して取り組んでまいりたいと考えております。

三陸復興道路の整備によりまして、東北内各エリアの時間・距離が大幅に短縮されたことも大きな魅力の一つと考えているところでございます。

最近では、地域の文化や歴史を感じられる体験プログラム、地場産品を使った食への関心も高まっており

ますことから、新年度には、地元の人とのふれあいを通して、より深く地域の文化や食などの魅力を感じる事ができるローカルツーリズム推進事業や東北ロードトリップ事業に新たに取り組んでまいります。

今後も、エリア全体として東北の各

第1回定例会

2

一般質問

「関山街道」を軸とした 仙山連携について

Q 加藤和彦議員

インバウンド、あるいは、東北連携といったダイナミックな視点は、アフターコロナにおける世界の中の都市間競争を勝ち抜くためには不可欠なものであります。一方で、身近な都市との緊密な連携をおろそかにしては、世界の都市との競争の土俵にすたがれないものと考えます。

例えば仙台と山形であります。この2つのまちを結ぶパイプは、古くから、関山街道、笹谷街道、二口街道の3つありました。それぞれに意義深い歴史がありますが、私が思うそれぞれの現在の特徴は、笹谷街道は国道286号となり、笹谷トンネルの開通、そして一部山形自動車道への格上げに至り、現在では本市と山形市を自動車で移動する主要路線となっております。また、二口街道は、秋保大滝や磐司岩、新緑や紅葉を始めとした自然豊かな景観や、立石寺などの歴史を堪能できる貴重な路線であります。関山街道でありま

自治体等と手を携えながら様々な施策に取り組み、東北を深く理解して愛着を抱いていただき、繰り返し訪れていただく、さらには地場産品を購入したりするような、いわゆる関係人口の創出にも力を入れ、地域の活性化につなげてまいりたいと存じます。

すが、現在国道48号となり、その沿線には、愛子、熊ヶ根、新川、作並、関山峠を越え、東根、天童を経て、山形に至ります。街道沿いのまちとしての歴史を持つ実に多くの特色ある地域を通る路線である点が、他の2つの路線と大きく異なる特徴と考えています。

このような関山街道、本市側では作並街道ですが、このルートを基軸とした仙山連携が目指すべき方向性について伺ってまいります。

両市のパイプとして3つの街道を挙げましたが、もう一つ重要なもの、JR仙山線があります。仙山線の全線開業は昭和12年にさかのぼりますが、開通当時から、この主要な乗客は、山形から仙台に野菜を売りに来る行商の女性達でありました。私も学生の頃、重い荷物を背負いながら、仙台朝市で野菜を売っている、たくさんの行商の女性の方々をお見掛けした記憶が鮮明に残っています。驚くべき

加藤和彦議員×仙台市長×経済局長

は、彼女達は山形の野菜を仙台で売って儲かったと喜んで山形に帰るのではなく、野菜の売り上げで仙台港などに上がった魚貝などを買い付けて帰るのであります。まさに、仙台と山形の物流を一手に担っていたのであります。彼女らの姿が仙台から消えてもう大分経ちますが、仙山連携は進化していると言えるでしょうか。新年度予算案における仙山連携の取組ですが、両市における観光イベントへの観光や物産ブースの出店、合同企業説明会など、東北連携分野とは異なり、これまでの取組の域を出るものは見当たらず、本気度が見えません。現在の仙山交流の具体の取組状況について伺います。

国道48号を大きな軸として
仙山交流について

コロナ禍における新しい生活様式の中で、いかに交流人口の増を図り、地域振興を図っていくか。特定の一つの大きな場所に人を集めるのではなく、各地域、まちの特色、強みを生かした魅力づくりを強化し、それらの地域をつなぐことによりエリア全体としての発展を狙っていくことが効果的ではないでしょうか。当局が長年取り組んでいる仙山交流についても、そのような考え方で、これまでの取り組み手法を見直すべきと考えます。

作並街道、国道48号沿いに本市側から各エリアの魅力を上げますと、物販を含む集客施設を中心とした区画整理が予定されている愛子地区、自然豊かで、山も川も存分に楽

しむことができ、さらには作並温泉がほど近い新川地区や作並地区など、ポテンシャルを秘めた地域が国道沿いに点在するエリアであります。これらに山形側の東根や天童の魅力が加わることとなります。要は、国道48号を大きな軸に、それぞれの地域が持つ魅力を引き上げ、そして、繋げていくことにより、より一層、エリアとしての魅力の向上を図ることができ、新たな仙山交流ができるものと考えます。にぎわいの創出、地域振興、交流人口の拡大や経済交流にも寄与するものと考えますが、ご所見を伺います。

— A ↓ 仙台市長

現在の仙山交流の取組状況について
国道48号を軸とした交流について

仙台・山形は、古来より多くの人々が往来をして、1時間ほどで移動できる交通環境となった現在では、観光に加えまして、通勤通学や買い物など、市民の皆様にとりましては、ひとつの生活圏と感じられるほど、関係性が深まってきているものと認識しております。

また、国道48号沿いには、鳳鳴四十八滝など自然景観、作並温泉などの歴史ある地域のほか、開発が進む愛子地区もございます。これらの多彩で魅力ある地域を効果的に結び付けることによりまして、域外からの交流人口の獲得にもつなげられるものと考え、山形市や地域の関係者とも連携をして、各般の取組みを進めてまいりました。

昨年11月には、作並、山寺エリ

アを対象とした観光関係者によるモニターツアーを実施し、更なる連携に向けた率直な意見交換を行ったところでございます。

今後は、仙山地域の魅力を発信するデジタルマップを作成し効果的なPRを行うなど、新たな取組みを進めることによりまして、仙山地域の活性化に繋げてまいりたいと存じます。

— Q ↓ 加藤和彦議員

農業振興の観点から見る、
作並・新川地区における取組について

具体的に、作並・新川地区における取組について、農業振興の観点から伺います。この地区には、いわゆる耕作放棄地が多くあります。この耕作放棄地は、ややもすれば廃棄物の不法投棄の場所となり、有害鳥獣の住処となってしまう。けれども、取り組み方次第では、大きな宝となる土地に大化けすることもありうるかと考えています。

仙台という大消費地がそばにあります。また、もともと耕作をされていた方がいて、農業のノウハウとマインパワーがあります。とかく重労働のイメージが強い農作業について、彼らのノウハウを活かしつつもAIやIoTなどの先端技術を使って気軽に楽しめる農業を実現し、こうした農業を活用した6次産業など、新たな産業を興えるのではないのでしょうか。ご所見を伺います。

— A ↓ 経済局長

作並・新川地区における
農業振興について

当該地区は、本市西部の他地域と同

様に農業従事者の減少や高齢化、有害鳥獣による被害など様々な要因が重なり、遊休農地が増加しているところでございます。

このような状況を打開するための方策の一つとして、宮城総合支所が実施する「先端技術を活用した宮城地区西部の課題解決事業」の中で、令和2年度より新川地区の水田においてIT技術を活用した栽培方法の実証実験を行っているところとです。

これは、通常の水田よりも水位を深く設定したうえで稲の生育に合わせるセンサーを用いた綿密な水位管理を行う技術で、除草の手間を省き無農薬栽培が可能となります。

また、従来の栽培方法よりも少ない人手で作業負担も軽減される効果もあり、担い手不足に悩む当地区の課題解決の一助になるものと期待されるものでございます。

今後とも、このようなスマート農業などの新技術を活用し業務の省力化、生産性や品質の向上を図るとともに、大消費地に近い強みを生かした6次産業化などの取組みを支援するなど、当地区の農業振興に取り組んでまいりたいと存じます。

— Q ↓ 加藤和彦議員

オートキャンプ場の誘致について

若者が入ってくれば地域の大きな力になりつつ、様々な新たなアイディアによりさらに地域の特徴を反映した魅力的な何かができ、一層の発展を得る可能性も見えてきます。

作並・新川の魅力は何よりも雄大な自然であります。この活用もポイントです。現在、文化観光局において「交流人口ビジネス活性化戦略」を策定しており、中間案には重点プロジェクトの一つとして「エリア別ブランドディングプロジェクト」を掲げています。その中で、西部地区においては、事業者等と連携し、「温泉」や「自然」などの魅力を生かした体験型コンテンツを創出することについて記載されています。自然を五感で感じることに加え、例えば誰でも気軽に利用できる農業指導付の体験農場などの様々なメニューを用意した、オートキャンプ場を誘致しては

いかがでしょうか。国道48号を利用した山形方面からの交流拡大も見込めます。ご所見を伺います。

森林資源を活用した魅力の向上について

さらには、この地域には豊富な森林資源があります。それを活用しない手はありません。例えば、国内外のプレイヤーに来ていただき、木材を活かした現代アートや工芸などの制作活動、活動や作品の展示の場としてのログハウスの設置等、この地ならではの魅力を外部の手をうまく活用しながら新たに展開していくことにより、国内外からの新たな交流人口の増加につながるものと考えます。先ほど述べた農業面からのアプローチと相まって、国道48号沿線の魅力の向上を図り、仙山連携の一層の推進に寄与できるのではないかと考えますが、如何でしょうか、伺い

ます。

— A ↓ 文化観光局長 —

**オートキャンプ場の誘致について
森林資源を活用した魅力の向上について**

作並・新川地区は、豊かな自然に恵まれ、国道48号沿いにある交通利便性もよく、コロナ禍によるアウトドア志向が高まる中、エリアの魅力を活かした様々な交流の可能性が広がっているものと認識しております。

今年度は、森の中の散策路の整備や、農業体験の後に温泉に宿泊するモニターツアーなどが行われたほか、新年度には、宮城総合支所が、作並小学校新川分校跡施設の利活用に向け、キャンプ場やワーケーション施設等としての実証事業を計画するなど、この地域の自然環境を生かした取組みが進んでおります。

こうした取組みに加え、議員ご提案のオートキャンプ場運営者や木工作家などのアーティスト等、地域の外からの活力を呼び込むことが今後の可能性を高める重要な視点であると考えておりまして、この地域特有の魅力を国内外に広く知っていただけるよう、更なる発信に努めてまいりたいと考えております。

— Q ↓ 加藤和彦議員 —

宮城総合支所の役割について

仙山連携、交流を活発化していくためには、地域の持つ多様な魅力

をうまく引き出し、コーディネートし、マネジメントができる力、事業者が絶対的に必要となります。そのためには、この地の未来をどう描くか、事業者の取組みを行政としていかに側面支援していくか、インセンティブをいかに付与するかなど、考えていく必要があります。こうした組織があれば、愛子地区で計画中の新たな集客施設と相まって、地域振興の大きなエンジンになるものと考えます。

区制施行以来、本市においては、経済や観光といった分野については、本庁が担い、区役所・総合支所は窓口のみとなっております。こうした分野の業務に取り組んでいくためには、地域の状況をつぶさに把握し、その上で地域のまちづくりの分野、経済振興の分野、観光の分野など、様々な分野の具体的な課題を分析し、その取組のブランドデザインを組み立て、総合的に地域の発展を図っていくことが必要と考えています。活性化連絡協議会と連携しながら、そういった業務を適時に機動的に、さらには効果的に行っていくためには、区役所・総合支所の主体的関わりが必要で

す。

今年度から宮城総合支所には、他の区役所・総合支所にはない、地域活性化推進室が設置され、宮城地区西部における地域課題を先端技術の活用により解決していくという、これまでにない取組みを地域の皆さんと具体的に話しながら進めております。

宮城総合支所としての役割・機能

を一層高め、地域課題の解決だけでなく、経済や観光交流の多面的な観点から、関山街道を基軸とした仙山連携について、宮城総合支所中心に進めていくべきと考えますが、これに対するご所見を伺います。

— A ↓ 青葉区長 —

宮城総合支所の役割について

宮城地区西部は、少子高齢化、人口減少の深刻化等により、地域課題が顕在化しております。これまでも、安全安心な暮らしの確保と地域の活性化に向け、地域の皆様と共に、様々な進めてまいったところ

です。

本年度からは、支所内に地域活性化推進室を創設し、先端技術を活用した電子回覧版や農作業の負担軽減策の実証実験、小学校跡地の利活用策の検討など、その取組みを強化したところでございます。

作並、新川地区をはじめとする恵まれた観光資源の魅力をより引き出し、交流人口の拡大と経済の活性化につながることは、宮城地区の将来にとって重要であり、仙山連携が進められることは、地域の賑わいづくりに大きく寄与するものと認識しております。

今後とも、宮城総合支所が、関係部局や多様な主体との連絡調整・連携を図りながら、仙山連携をはじめ地域の創意工夫を生かした各般の取組みが一層進められるよう、しっかりとその役割を果たしてまいりたいと考えております。

有害鳥獣対策について

Q V 加藤和彦議員

クマをはじめとする

有害鳥獣への対応について

7月27日の早朝に、青葉区熊ヶ根において女性がクマ1頭に遭遇し、軽傷を負った事故を皮切りに、8月14日の朝には青葉区上愛子において散歩中の方が、さらに8月29日の夕方にも、2件目の事故から数百メートルの場所で電気柵補修中の方と一緒にいたお孫さんがクマに遭遇し、重傷を負うという事故が発生しています。

わずか1か月ちよつとの間に3件もこうした事故が起き、さらに9月6日にはJR陸前落合駅近くで街路樹に登っているクマが捕獲されました。ここまで頻繁に起きるとなると、緊急事態と言っても過言ではないものと思えます。一歩間違えれば人命に関わるような事態になっており、直ちに向き合わなければなりません。

一連の事故を受け、市では8月30日に野生生物調査の専門事業者とともに現場調査を行ったとの報道がありました。現場調査に基づき、どのような対応を行ったのか、また、近隣町内会、小学校にはどのような注意喚起を行っていくのかお伺いします。

事故があった現場の周辺には、クマが身を隠すための藪が多く危険との指摘もありました。宮城地区などでは、休耕農地に草が生え、藪のように

なっている箇所が散在しています。土地を所有している方に注意を呼びかけ、草刈りをしていただくなどの協力をいただきながら、できるところからやっていくという姿勢も大事ではないでしょうか。所見を伺います。

クマに限らず本市の西部地域においては、イノシシなど有害鳥獣への対応も年々増加しています。市民の安全確保に向けて、より機動的な対策を講じる必要があると考えます。一刻も早い地域住民の安心・安全を考えると、区のエリアをまたいで、現場で関係機関と調整し判断できる専門部署を西部地域に設置することも一つの手法ではないか、と考えるところですが、お考えを伺います。

A V 環境局長

現場調査に基づく対応について

クマによる人身事故への対応についてのご質問にお答えいたします。人身事故の発生を受け、本市では、その都度現場調査を実施するとともに、広報車の巡回や看板設置などにより近隣への注意喚起を図ってまいりました。

さらに8月29日に発生した事故の現場調査の結果を踏まえまして、当該現場付近に箱わなを設置するとともに、警察と連携し、パトロールの強化を図ってきたところでござ

ざいます。

今後、クマと出会わないための方策や、万が一遭遇した場合の対応などにつきまして、近隣の町内会へのチラシ配付や、学校での講座の開催等を通じましてさらなる周知を図り、人身事故の発生防止に努めてまいります。

休耕農地等への対策について

休耕農地など管理が行き届いていない土地は雑草が生い茂り、クマやイノシシなどの生息・活動の温床となりやすいため、人的被害の発生防止、農作物被害防止の双方の観点から草刈り等の適切な管理が欠かせないものと認識しております。

今般の一連の事故を受けまして、宮城総合支所において緊急対策として現場周辺の農道脇の草刈りを行ったところですが、土地所有者や地域住民の皆様は草刈り等の環境保全活動を働きかけますとともに、休耕農地の発生を抑制するた

め農業者の皆様による農地の維持保全活動を支援してまいります。存じます。

西部地域への専門部署の設置について

専門部署設置についてでございます。

先般の陸前落合駅近くでのクマ捕獲は、住宅密集地で夜間に麻酔銃を用いて捕獲するという、本市では先例がない事案でございます。必要となる県や県警との協議等に時間を要したものでございます。

クマの出没時期が限定されることや年ごとの出没件数にはばらつきがあることなどから、現時点におきましては現行の組織体制による対応を基本とした上で、今回の事案に鑑み、住宅地でのクマ出沒への対応フローを見直し、区・総合支所、県や県警など関係各所との共有を徹底することにより、同様の事案が生じた際の迅速な対処に努めてまいります。

令和4年第1回定例会予算特別委員会主な質疑項目

OGIGAスクール構想について

*ICT支援員の確保

*外部人材が児童生徒にプログラミング等を教える取り組み

*世界と戦える人材育成のため、OGIGAスクール構想を進めるに当たり

語学力(英語)の強化を

*手書き学習の重要性

○海鋒義美先生について

*音楽ホールに、楽都仙台ゆかりの音楽関係者の功績を称える取り組み

*海鋒義美先生を顕彰する企画・事業への仕組み

*先人の功績の発信

令和4年度 施工一覧表

※令和4年度工事(現時点の契約額)及び令和3年度より継続施工工事の進捗状況

令和4年10月20日現在

| No. | 工事件名 | 施工場所 | 発注予定時期または工期 (延伸予定の工期) |
|-----|---|----------------|--------------------------|
| 1 | (主)定義仙台線(夜盗沢工区) 道路防災工事(その1) | 青葉区大倉字夜盗沢 地内 | R3.10.5~R4.8.31 |
| 2 | (市)森下河原線(陸前落合駅歩道橋) 耐震補強・補修工事 | 青葉区落合二丁目 地内 | R3.8.2~R4.5.31 |
| 3 | (市)落合栗生線(落合橋)仮橋設置工事 | 青葉区栗生二丁目 地内 | R4.3.3~R4.6.30 |
| 4 | (市)向田団地線(向田工区)道路付帯工事 | 青葉区芋沢字鳥屋敷前 地内 | R4.3.15~R4.11.30 |
| 5 | (市)向田団地線(向田工区)工事用道路築造工事 | 青葉区芋沢字鳥屋敷前 地内外 | R4.9.30~R5.3.31 |
| 6 | (市)向田団地線(向田工区)橋梁下部工事(その1) | 青葉区芋沢字鳥屋敷前 地内外 | 3/4期発注済 |
| 7 | (市)芋沢赤坂線道路改良工事 | 青葉区芋沢字赤坂 地内 | 3/4期発注予定 |
| 8 | (市)中原鳴合線(大堀工区)側溝整備工事 | 青葉区芋沢字大堀 地内 | 3/4期発注済 |
| 9 | (市)落合栗生線(落合橋)取付道路工事 | 青葉区栗生二丁目 地内 | 3/4期発注予定 |
| 10 | (市)落合栗生線(落合橋)橋梁下部工工事 | 青葉区栗生二丁目 地内 | 4/4期発注予定 |
| 11 | (主)仙台北環状線(葛岡工区)舗装改修工事 | 青葉区郷六字葛岡 地内 | R4.9.2~R4.12.12 |
| 12 | (国)457号(綱木工区)外1線舗装改修工事 | 青葉区芋沢字大竹中 地内 | R4.7.14~R4.12.23 |
| 13 | (国)457号(愛子東工区)歩道改修工事 | 青葉区下愛子字町 地内 外 | R4.8.12~R5.1.31 |
| 14 | (国)457号(愛子東工区)外1線舗装改修工事 | 青葉区愛子東二丁目 地内 | R4.8.23~R5.1.31 |
| 15 | (市)葛岡墓園入口線(葛岡工区)歩道改修工事 | 青葉区郷六字葛岡下 地内 | R4.9.29~R5.2.28 |
| 16 | (市)吉成伊勢幹線7号線(国見ヶ丘五丁目工区) 舗装改修工事 | 青葉区国見ヶ丘五丁目 地内 | R4.8.8~R5.1.31 |
| 17 | (市)宮城中山線(吉成山工区)外1線舗装改修工事 | 青葉区芋沢字吉成山 地内 | R4.9.2~R5.1.31 |
| 18 | (市)倉内赤生木線(倉内工区)舗装改修工事 | 青葉区上愛子字倉内 地内 | R4.9.2~R5.12.12 |
| 19 | (市)サイカチ沼線(芦見工区)道路防災工事 | 青葉区上愛子字芦見 地内 | R4.9.2~R5.3.31 |
| 20 | (主)定義仙台線(夜盗沢工区)道路防災工事(その2) | 青葉区大倉字夜盗沢 地内 | R4.8.5~R5.3.31 |
| 21 | (市)十里平中線(濁又沢橋)橋梁耐震補強・補修工事 | 青葉区大倉字横川岳 地内 | R4.9.1~R5.3.31 |
| 22 | (市)森下河原線(陸前落合駅歩道橋)耐震補強・補修工事 (JR工事委託協定) | 青葉区落合二丁目 地内 | R4.4.7~R5.3.31 |

※1/4期とは4月~6月、2/4期とは7月~9月、3/4期とは10月~12月、4/4期とは1月~3月